

# 高齢者の認知・視覚機能を考慮したクローズドキャプションのモデル提案

○稲瀬達也 (Tatsuya INASE)、中村広幸 (Hiroyuki NAKAMURA)

**Keywords** : 情報保障、accessibility、高齢者、クローズドキャプション、フォント  
フォントサイズ、文字色、背景色、背景透過度

## 1 目的

情報化が進行する我が国において、日常生活や社会参加などあらゆる場面で情報行動は重要である。加齢とともに聴覚や認知機能が低下する高齢者は、現段階において、日常生活に関する情報をテレビから入手する機会が最も多い。元来、テレビには聴覚障害者向けの情報保障として音を文字に変換するクローズドキャプション (CC) 機能がある。しかし、国内テレビ放送 CC は北米地域や Web 動画などの CC と比べ、フォントサイズや文字色、背景色といった CC 表示機能に制限がある [1]。また、高齢者を対象にした CC の検討を行った既往研究は少ない。そこで、本研究では CC の表示機能に注目し、高齢者の認知・視覚機能を考慮した CC のモデルを提案する。

## 2 方法

CC 表示の構成要素である、フォント、フォントサイズ、背景色・文字色、背景透過度を変数に、国内の従来規格と北米地域や他メディアの CC を参考に用意した提案仕様との間で比較を行った。

対象者は高齢者 51 人 (前期高齢者 : 28 人 後期高齢者 : 23 人) である。被験者を従来規格と提案仕様とで 2 群に分け、それぞれの変数を適応した 4 つの映像をランダムな順で視聴してもらった。各映像視聴後に映像内容に関する質問やアンケート評価を行った。

## 3 結果

全体的な傾向として、各変数に顕著な有意差はほとんど見られなかった。背景色・文字色の組み合わせでは、映像内容の理解度に有意差が認められた。現行規格は「白文字・黒背景」、提案仕様は「青文字・白背景」であるが、「白文字・黒背景」が内容理解に寄与する傾向が示唆された。しかし、緑内障を持つ被験者からは「青文字・白背景」が見やすいというコメントもあり、個人によって求める表示要素は異なる可能性がある。実験後に実施した CC の見やすさに関するアンケートでは、50 人中 33 人が見づらいと答えており、理由として、文字色や CC の表示位置が多く挙げられている。文字色は、扱った映像が白色のものであり、CC の背景が透過することで文字そのものが潰れてしまったことが原因であると推察される。テロップや字幕スーパーといったオープンキャプション (OC) によって CC の表示位置が阻害されたために表示位置が制限を受けてしまう。

## 4 結論

今回の研究では、現行規格と提案仕様とで顕著な差異は見られなかった。しかしながら、個人が必要とする CC の機能は個々に異なることが改めて確認された。情報保障を実現する上では、利用者が CC 表示に関して任意に設定可能な機能が必要であると考えられる。また、OC のように CC 以外の要素が情報保障を阻害していることは明らかであり、OC の運用も含めた上で、国内テレビ放送の情報保障の扱い方を検討する必要がある。

### 【主要参考文献】

[1] 総務省、字幕付き CM 放送の本格実施に向けて

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000273481.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000273481.pdf) (2020/1/25 アクセス)